

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.35 2016年7月号
 倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8024 倉敷市水島北春日町4番3号
TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

コープリハビリテーション病院・老健あかねに期待すること

前院長 太田 仁士



太田 仁士先生
私は1987年7月1日の健寿

協同病院の創立時より勤務しました。当時の病院は「健寿」という名前から分りますように「健やかな長寿」という意味で、高齢化社会を迎えた時代において老人医療に取り組むことが目的でした。この時代の医局のメンバーは院長が三村宏二先生でその他に清水順子先生と私がいました。当時の医局の雰囲気は清水先生の書いた漫画を見て頂ければわかると思います。(左図)



図：創立時のドクタートリオ

このように取り組みの内容においては誇るべき点があったのですが、ただひとつ残念なことがありました。それは施設が老朽化していたことでした。現在の建物は1963年から1966年にかけて建設された旧水島協同病院の建物を1987年に改築して病院を開設し、さらに1995

この頃の老人病院は全国的には営利主義に走る病院が多く評判が悪かったのですが、私たちは時代の要請にこたえる先進的で理想的な老人医療、介護を創造しようという使命感で全職員が団結して真面目に取り組んだと自負しています。すなわち、現代の老人医

者の皆様にご不便をおかけして申し訳なかったと思っております。私は2004年には健寿協同病院の院長に就任しその時から施設の刷新を目標としていましたが実現できず2010年に退任しましたのでその夢は後任の鍛本先生や



窪田 直美

シリーズ「専門職の誇り」

老健でもう一度 自宅で暮らせるリハビリを

老健あかねでは、ショートステイ（短期入所）を含めて入所されている利用者様へリハビリテーションを行っています。

ます。担当スタッフ一同、利用者様の活動性が低下しない様、いろいろな工夫をしながらリハビリテーションを提供しています。

建設の状況

外壁工事が始まりました



現在日課となっているのは、集団活動です。貼り絵、ぬり絵・計算問題を中心にして、その人に合った作業をお勧めして、日中はベッドから離れて過ごすというリズムが出来ていまして、それに加えて身体能力が低下しない様に機能訓練として運動を行っています。出来る限り御自分でトイレに行く・食べる・歩く（移動する）という能力が維持できるように、自主



生活機能向上リハビリ

訓練も含めた運動を勧めています。退所後の利用者様の生活の場は様々です。可能な限り御自宅で生活をあきらめず、安全に快適に生活ができるように他職種と一緒に支援をさせて頂いています。100歳を超えた利用者様も数人おられます。時には人生の大先輩からの御指導も頂きながら、にぎやかに一緒に過ごす時間を大切にしたいと思っております。

老健あかね 理学療法士 主任 窪田 直美

職員の皆さんに託しました。そしてこのたびの新築計画となりましたので非常に感慨深いものがあります。鍛本先生はこれまでの健寿協同病院の伝統を引き継ぐだけでなくさらに発展させたいという大きな夢を持っておられました。そこで、従来の老人への取り組みという枠を超えた高齢者のみならず若年の方も含めた障害者の医療、介護という一段と発展した段階に取り組みするという構想をもつ

て病院の名前をコープリハビリテーション病院と改名させていただきます。名は体を表すと言いますが、この名前のように職員や組合員の方々がみんな力を合わせてリハビリの理念を体現するべく医療、介護の内

医療生活協同組合・職員永年の夢が実現します。

「協同病院(旧水島協同病院)」

7月1日開設

「生きていく力」その声に聞かされた私達の願いです。



開院準備時のパンフレット

入院や入所に際して、部屋代はいたしません。

